

地球温暖化防止のための市民提言ワークショップの結果（1会場分）

グループ	現状と課題	対策（取り組み）	理想像（将来像）
Aグループ (エコライフ・交通など)	<p>●<b>ライフスタイルに関すること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活の24時間化が定着。ライフスタイルが無茶苦茶になってしまった。</li> <li>過剰包装があたりまえの状況。</li> <li>水も出しっぱなし、電気もつけっぱなしの人が多い。</li> <li>昼間でも電気をつけているのはもったいない。</li> <li>歩いて行けるところも車で移動することがあたりまえ。</li> <li>賞味期限という考え方がもったいない。</li> </ul> <p>●<b>環境に対する意識に関すること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CO<sub>2</sub>は目に見えないゴミ。見えるゴミではないから実感がわかない。</li> <li>環境に負荷を与えることの痛みがわかっていない人が多い。</li> <li>環境保全行動は、誰しもうるまいことだと思いが、いざ自分のことになると人ごとになる。</li> <li>昔、自分が貧乏だったからと思い、次世代には豊かに過ごしてもらいたいと思いがち。それが無駄などを生みだし環境を破壊していく。</li> <li>次世代に対する想いが薄いご年配の方々もいる。</li> <li>若い人の良識がゼロに近い。しかし温かく見守っていく姿勢も大切。</li> <li>価値観の変化。幸せとは何なのかを考える必要がある。</li> </ul> <p>●<b>仕組みに関すること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の連帯感が薄く行動が広がっていかない。</li> <li>ゴミ収集など行動を行政任せにしている面がある。</li> <li>環境保全行動をする団体への補助金交付が、合併後遅くなった。</li> </ul> <p>●<b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業形態が変わってきて、緑が減少している。</li> <li>川がなくて水路しかなく、自然の浄化作用がない。</li> <li>公共の建物に無駄な設計、十分に環境に配慮されていない建物がある。</li> </ul>	<p>●<b>ライフスタイルに関すること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まずは節約。</li> <li>地産地消を進めていく。</li> <li>生ゴミを出さないで資源とする。家庭に1つずつコンポストを設置。</li> </ul> <p>●<b>環境に対する意識に関すること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モノを買う時に環境に優しいのはどれかが解るようにしたい。</li> <li>全体だけではなく、個人にも呼びかけていかなければならない。</li> </ul> <p>●<b>仕組みに関すること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境に関する情報がわかる仕組みづくりを行う。</li> <li>製品に、作る時に排出したCO<sub>2</sub>の量も表示してほしい。</li> <li>コンビニも営業時間の制限を設けるべき。</li> <li>自動でCO<sub>2</sub>排出量が算定できるような、簡単な環境家計簿を開発する。</li> <li>省エネの機器を無料で使える仕組みにする。</li> </ul> <p>●<b>交通に関すること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バス、路面電車を充実する。 ・バスを無料化する。</li> <li>電車の本数を増やす。 ・パークアンドライド。 駅前駐車場を作る。</li> <li>自転車レーンを整備する。 ・レンタサイクルを置く。</li> <li>自動車が使えない地域を作る。公共交通だけでしか移動できない。あるいは、自動車の乗り入れを有料にし、電車利用に特典がつく仕組み。</li> <li>カーシェアリング、トロリーバスなど路線バスだけでない輸送を考える。</li> <li>燃費の表示だけでなく、生産から廃棄までのCO<sub>2</sub>排出量の表示をする。</li> </ul> <p>●<b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緑を増やしていくことも大切。 ・天ぶらの廃油を有意義に使う。</li> <li>公共施設をはじめ、省エネを考えた建物にしていく。</li> <li>ゴミを作った業者が、ゴミを処分していく必要がある。</li> <li>環境保全活動をしている市民に補助などの予算をつけてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スローライフが基本となった社会。</li> <li>・得だ！楽しい！と思えるエコライフができるまち。</li> <li>・例えばCO<sub>2</sub>の排出を1/3にする、1/10にするなど、はっきりと宣言し有言実行する。</li> <li>・今は環境をやっている人が変人扱い。 環境保全行動を行う人があたりまえの社会とならなければならない。</li> <li>・もったいないという意識の根付いた社会。 ごみの出ない社会（今までごみだったのものを使う社会）。</li> <li>・自然環境が豊かなまち（自然環境と触れ合うことは、エコライフである）。</li> <li>・地域で取れたものを食べて、地域の仲間と暮らすことが幸せと感じる社会。</li> </ul>
Bグループ (環境教育・仕組みづくり)	<p>●<b>環境教育に関すること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境教育の指針となるような副読本があればいい。</li> <li>先生の意識レベルによって取り組み方に差が生じている。</li> <li>環境教育に対する明確なプログラムが確立されていない。</li> <li>大人に対する環境教育がない。</li> <li>環境問題は地域に密着した問題なのに先生だけに環境教育を任せている。</li> <li>環境教育は地域のお宝探し。自分たちのまちに興味を持ってもらうべき。</li> </ul> <p>●<b>環境に対する意識に関すること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの問題という意識が低く個人差も大きい。</li> <li>家庭での認知度・意識が低いことが問題である。</li> <li>誰の責任でもなく、我々の責任であるという認識を持つ必要がある。</li> <li>市民への情報提供が少ない。</li> <li>自然環境を通じて子供たちの意識を変えていきたい。</li> <li>一人一人の意識を高めるような啓発の仕方考えるべきである。</li> </ul> <p>●<b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>菜の花畑に虫が集まってこなくなった。 ・森、屋敷林が少なくなった。</li> </ul>	<p>●<b>環境教育に関すること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境教育の副読本の整備や環境教育のプログラムを確立する。</li> <li>先生たちに対しても環境問題に対する教育を行う。</li> </ul> <p>●<b>環境に対する意識に関すること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『もったいない！』ということの具体例をあげた市民啓発を行う。</li> <li>給食の100%完食を実施する。</li> <li>地産地消を推進し、環境に対する意識を高める。</li> <li>地球環境の講座を開催し、意識を高める。</li> <li>家庭での意識を高めるため、母親が参加する活動・イベントを開催する。</li> </ul> <p>●<b>仕組みに関すること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電や雨水利用に対する補助金などの制度を確立すべきである。</li> <li>行政は縦割すぎて施策が効率的に実施されていない。もっと各部と連携するような水平展開をすべきである。</li> <li>行政はJAをはじめ、行政以外の各種団体との連携を強化すべきである。</li> <li>マイバッグの普及にポイント制を導入する。 豊栄ではマイバッグポイント制を立ち上げ。3～4年で持つのがあたりまえになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和30年代の、「三丁目の夕日」のような世界。</li> <li>・緑の100年物語に示されているような田園都市。</li> <li>・森（緑）に囲まれたまち。</li> <li>・スローライフな社会。</li> <li>・ネオンがない、コンビニがない、夜遊びをしない社会。</li> <li>・環境に対する市民活動が活発な社会。</li> <li>・豊かさとは何かを考えるべき。</li> </ul>